

## 5. 健康を支え、守るための社会環境の整備

個人の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、県民の健康づくりを支援する関係機関・団体の積極的な参加を得て、県民が主体的に行う健康づくりの取組みを支援できるような社会環境の整備が求められます。

### 【現状と課題】

#### ○社会全体で、個人の健康づくりを支える取組みが必要です。

- ・ 健康づくりは、県民一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という意識を高め、主体的に取り組むことが必要ですが、社会全体としても、個人の健康を支え、守る環境づくりに努めていくことが重要です。
- ・ 県では、平成 26 年度から県民の健康づくり意識の醸成と企業・団体等への健康経営を推進する「くまもとスマートライフプロジェクト」を実施し、適度な運動、適切な食生活など 6 つの行動を呼びかけ、県民の生活習慣の改善を推進しています。また、企業・団体等が職場ぐるみで従業員等の健康づくりに取り組む「くまもとスマートライフプロジェクト応援団」の登録を推進しており、平成 30 年 1 月末現在で、960 団体まで増加しています。
- ・ 県内の健康づくりに関する団体や県民代表などが一堂に会する「熊本県健康づくり県民会議<sup>1</sup>」において、地域や職場で効果的な健康づくりの取組みを実施している団体等を表彰し、その取組みを共有することで、県内全体へ啓発普及に努めています。
- ・ 県内全域で計画的に健康づくり施策を推進するため、市町村に健康増進計画の策定を促していますが、平成 28 年現在でまだ 6 町村が未策定です。
- ・ 健康づくりを支援する関係機関や団体の積極的な参加協力を得ながら、県民総参加による健康づくりを進められるような体制整備が求められています。

#### ○県民の健康食生活を支援する食環境整備が求められています。(再掲)

- ・ 昼食に外食等を利用する人の割合は 34.7% (平成 23 年度) と高い傾向にあります。くまもと健康づくり応援店は増加しています。
- ・ 県民が安心して食品を選ぶためには、適正な食品表示等による情報提供が必要です。

### 【施策の方向性】

#### ○県民の健康づくりを支援する社会環境整備の推進

- ・ 県民の生活習慣を改善し健康寿命を延ばすことを目的に、「くまもとスマートライフプロジェクト」を展開し、6 つのアクション (①適度な運動、②適切な食生活、③禁煙、④健診やがん検診受診、⑤歯と口腔のケア、⑥十分な睡眠) の実践を推進します。
- ・ スマートライフプロジェクトの趣旨に賛同し、従業員やその家族、県民に向けて健康づくり活動の意識啓発、実践等に積極的に取り組む「スマートライフプロジェクト応援団」

<sup>1</sup> 熊本県健康づくり県民会議：すべての県民が生涯を通じて健やかで心豊かな生活が送れるよう、県民の健康づくりの機運を盛り上げるために県民代表、関係機関・団体、学識経験者、行政などが一体となって協議する会議のこと。

の登録数を増やすことにより、社会環境整備を推進します。

- ・ 「熊本県健康づくり県民会議」において、地域や団体等が実践している健康づくりに効果的な取組みを共有するとともに、それぞれの団体の健康づくり活動についての情報交換を行うなど、県内全域で効果的な健康づくり活動が展開できるようにします。

### ○糖尿病予防をテーマとした県民運動の展開

- ・ 県民が糖尿病予防に関する正しい知識を身につけ、自ら健康的な生活が実践できるよう、糖尿病予防をテーマとした県民運動を新たに展開し、県民一体となった取組みを推進し、社会機運の醸成を図ります。
- ・ 県民運動として、生活習慣改善の具体的な行動（食事は塩分控えめ、腹八分、野菜たっぷり、1日1万歩運動等）をわかりやすく呼びかけるため、運動のスローガン等を県民から募集します。また、県民、関係機関・団体、行政が一体となって健康づくりを進めるための熊本県健康づくり県民会議（構成43団体）での取組みテーマとし、くまもとスマートライフプロジェクト応援団等にも取組みを推進するなど、広く県民への周知を図ります。

### ○食環境整備の充実強化（再掲）

- ・ 栄養成分表示やヘルシーメニュー提供等に取り組むくまもと健康づくり応援店の店舗数を拡大して食環境の充実を図ります。
- ・ 高齢になっても健康的な食生活を実践できるよう、飲食店や弁当惣菜店等で量や軟らかさに配慮した料理が提供される等の高齢者が利用しやすい食環境の整備を図ります。
- ・ 食品表示制度の普及啓発や食品表示法等違反の事業者指導を強化し、食品を適正に利用できる環境づくりに努めます。

### ○熊本県健康増進計画、市町村健康増進計画による健康づくりの推進

- ・ 健康づくり施策を重要な行政施策として位置づけ、関係部局と一体となって推進します。
- ・ 健康増進計画が未策定の市町村においては、県や保健所において、策定支援を行います。また、既に計画を策定した市町村であっても、計画の見直し等への支援を行います。

## 評価指標

指標名	現状	目標（H35）	指標の説明・目標設定の考え方
くまもとスマートライフプロジェクト応援団登録数	960 団体 (H30 年 1 月末)	1500 団体	県健康づくり推進課調べ 年間 100 団体程度の登録を目標とする
健康増進計画策定市町村数	39 市町村 (H28 年度)	45 市町村	県健康づくり推進課調べ 全市町村での策定を目指す
くまもと健康づくり応援店数 (再掲)	437 店舗 (H29 年 3 月)	620 店舗	県健康づくり推進課調べ